

平成 21 年 4 月 2 日

超臨界流体部会第 16 回幹事会議事録(案)

日時:平成 21 年 3 月 18 日(水)12:00 ~ 13:00

場所:横浜国立大学(横浜市)

出席者(敬称略):佐古 猛(静岡大学)、船造俊孝(中央大学)、山田和矢(東芝)、鈴木 明(産総研)、古屋 武(産総研)、佐藤善之(東北大学)、葭田真昭(宇都宮大学)、大島義人(東京大学)、田村和宏(金沢大学)、滝島繁樹(広島大学)、岩井芳夫(九州大学)、若山博昭(豊田中研)、川崎慎一郎(産総研)、Smith,R.L.(東北大学)、阿尻雅文(東北大学)、松田知子(東京工業大学)、児玉大輔(日本大学)、吉田絵里(豊橋技術科学大学)、平田洋介(東芝)、栃木勝己(日本大学)、東 秀憲(金沢大学)、猪股 宏(東北大学)、辻 智也(日本大学)、鈴木章悟(リコー)、岡島いづみ(静岡大学)

議題:

1. 平成 20 年度事業報告

- (1) 超臨界流体部会第 14 回部会集会(平成 20 年 3 月 17 日開催・浜松名鉄ホテル)
佐古部会長より、報告事項、審議事項について大まかな報告があった。
- (2) 超臨界流体部会第 7 回サマースクール(平成 20 年 7 月 22 日 ~ 23 日開催・熱海ニューフジヤホテル)
田村幹事より、参加人数、講演会の状況等について報告があった。
- (3) 第 40 回秋季大会シンポジウム(平成 20 年 9 月 13 日 ~ 15 日開催・東北大学)
鈴木副部会長より、シンポジウムの状況、基礎物性部会との共催であったこと、学生賞等について報告があった。
- (4) 超臨界流体部会第 15 回部会集会(平成 20 年 9 月 13 日開催・ホテルユニバース仙台)
佐古部会長より、報告事項、審議事項について大まかな報告があった。
- (5) 「若手研究者・技術者向けの超臨界流体」講習会(平成 21 年 3 月 3 日開催・日本大学理工学部(御茶ノ水)1 号館)
栃木監事より、講習会の状況等についての報告があった。
- (6) 超臨界流体に関する国際シンポジウム(平成 20 年 6 月 17 日 ~ 18 日開催・タワーホール船堀)
佐古部会長より、繊維学会との共催事業として開催されたことなどの報告があった。
- (7) 化学工学会九州支部 沖縄大会(平成 20 年 8 月 8 日 ~ 9 日開催・沖縄産業支援センター)
佐古部会長より、大会の状況について報告があった。
- (8) 日本エネルギー学会バイオマス部会・化学工学会超臨界流体部会との合同シンポジウム(平成 21 年 2 月 4 日開催・全国家電会館)

鈴木副部長より、日本エネルギー学会バイオマス部会との共催で実施したこと、講演会の状況等について報告があった。

2. 平成 20 年度会員移動

佐古部長より、平成 21 年 3 月 16 日現在の会員数とその内訳についての報告があった。

3. 「新化学工学体系化」現状報告

船造副部長より、平成 20 年 12 月 31 日に発行されたこと(定価 3,800 円)等が報告された。

4. 「超臨界分野の実験研究における安全指針策定」現状報告

大島幹事より、「超臨界分野の実験研究における安全指針策定」の進捗状況についての報告があった。

5. 受託調査報告

岡島より、平成 20 年度は静岡大学工学部から調査研究の受託があったこと及びその内容と調査費収入について報告があった。

6. 部会継続承認

佐古部長より、平成 20 年 12 月 19 日の第 5 回理事会において部会継続の承認が得られたこと、審査会のコメント等についての報告があった。

7. その他報告

(1) 超臨界流体部会活動成果集(ワーキンググループ活動報告書No.5)の進捗状況

山田副部長より、各ワーキンググループの進捗状況、編集、印刷、発行までを5月中に完了したいこと等が報告された。

8. 平成 20 年度部会収支決算報告

佐古部長より収支決算の内容説明があった。

9. 部会役員について

佐古部長より、超臨界流体部会の平成 21 年・22 年度新部長として船造副部長を推薦したいとの提案があり、承認された。また船造副部長より、新副部長として鈴木明氏(産総研)、後藤元信氏(熊本大学)及び中川尚治氏(パナソニック電工)の 3 名にすること、新幹事は平成 19 年・20 年の幹事の留任、ただし後藤幹事が副部長に就任するため、近藤英一氏(山梨大学)を新幹事に加えること、新監事には佐古猛氏(静岡大学)と山田和矢氏(東芝)にすること、事務局として猪股宏氏(東北大学)が留任することが説明され、承認された。

10. 平成 21 年度活動計画

(1)化学工学会第 74 年会(平成 21 年 3 月 18 日～20 日開催・横浜国立大学)

佐古部会長より、進行状況について報告があった。

(2)第 8 回サマースクール(平成 21 年 7 月下旬予定)

佐古部会長より、担当者として反応 WG 大島幹事をお願いすること、詳細については今後検討していくことが提案され、承認された。

(3)化学工学会第 41 回秋季大会

オーガナイザーの山田副部会長より、秋季大会で開催するシンポジウムに関して、基礎物性部会と合同で開催すること、テーマ名は「次代を担う超臨界流体技術」であるとの説明があり、承認された。

11. 関連国際会議

(1) 阿尻幹事より、9th International Symposium on Supercritical Fluids(2009 年 5 月 18～20 日、フランス)に関する紹介があり、また超臨界流体に関連したテーマの博士論文についての賞があるため、該当者は奮って欲しいとの説明があった。

(2) 田村幹事より、5th International Symposium of Molecular Thermodynamics and Molecular Simulation(2009 年 10 月 2～5 日、金沢)に関する紹介があった。

(3) 阿尻幹事より、Super Green 2009(2009 年 10 月 15～17 日、仙台)に関する紹介があった。

(4) 古屋幹事より、2009 AIChE Annual Meeting(2009 年 11 月 8～13 日、アメリカ)に関する紹介があった。

12. 平成 21 年度部会収支予算案

佐古部会長より、平成 21 年度の予算案に関する説明があり、承認された。

13. 受賞

佐古部会長より、超臨界流体に関する研究分野での受賞について、会員より 21 件の報告があったこと等の説明があった。

以上